

問1 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へと向かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。(2024年)

福井公立入試 類似)

1. 飛騨山脈 2. 木曾山脈 3. 赤石山脈 4. 日高山脈

問2 石川県の能登地方で生産され、下地に「地の粉(じのこ)」と呼ばれる土を混ぜることで丈夫な塗膜を作る、北陸地方を代表する漆器の名称を選択してください。(2022年 和歌山公立入試 類似)

1. 輪島塗 2. 会津塗 3. 南部鉄器 4. 西陣織

問3 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものととして最も適切なものはどれですか。(2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから  
2. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから  
3. 製品の鮮度を維持する必要があるため、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから  
4. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから

問4 中部地方の各県の特色について述べた次の文のうち、農業生産の統計において米の割合が57.0%と非常に高い県(新潟県など)や、野菜の割合が33.9%に達する県(長野県など)が含まれる地域の、気候と農業の関係を説明したものととして最も適切なものはどれですか。(2021年)

福岡県公立入試 類似)

1. 日本海側の平野部では稲作が盛んに行われる一方で、内陸の標高が高い地域では1月の平均気温が氷点下になるような冷涼な気候を活かした野菜栽培が行われている。  
2. 太平洋側の温暖な気候を活かして、冬でも温暖な環境で野菜を育てる促成栽培が盛んであり、大消費地である都市部へ向けて出荷されている。  
3. 広大な平野部において、大型の機械を導入した効率的な生産体制を整えることで、小麦やてんさいなどの畑作と大規模な酪農が組み合わせられている。  
4. 夏に雨が少なく乾燥する気候に適応するため、ため池を多く設置することで農業用水を確保し、古くから米作りと果樹栽培を両立させている。

問5 中部地方の内陸部では、1月の平均気温が-0.6度となるような寒冷な環境が見られます。こうした冷涼な気候を活かして行われる、長野県などの高冷地における農業の工夫として正しいものはどれですか。(2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 夏でも涼しい気候を活かして、他の地域では生産が少ない時期にキャベツやレタスを生産し、時期をずらして出荷する。  
2. 冬の寒さが厳しい時期に、ビニールハウス内の温度を上げて促成栽培を行い、きゅうりやピーマンを早く出荷する。  
3. 雪が多く降る気候を活かして、冬の間水田に雪を溜めておくことで、春の田植えに必要な農業用水を大量に確保する。  
4. 一年を通じて気温の変化が少ない海洋性の気候を活かして、茶やみかんといった寒さに弱い作物を大規模に栽培する。

問6 2万5千分の1の地形図を用いて富山県高岡市役所の周辺調査を行う際、市役所から実際の距離で600m圏内の範囲を図上で測定する方法と、その範囲内に位置する公共施設の記号の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 図上の距離で2.4cmの範囲を測り、その中に消防署や警察署の記号があるかを確認する。  
2. 図上の距離で1.5cmの範囲を測り、その中に税務署や裁判所の記号があるかを確認する。  
3. 図上の距離で4.0cmの範囲を測り、その中に病院や保健所の記号があるかを確認する。  
4. 図上の距離で6.0cmの範囲を測り、その中に郵便局や小中学校の記号があるかを確認する。

問7 日本アルプスなどの高い山々に囲まれた中央高地の盆地では、他の地域と比較して「ため池」が多く見られます。この地域でため池の利用が発達した理由について、地形と気候の関係から説明したものととして最も適切なものはどれですか。(2026年 愛媛公立入試 類似)

1. 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。  
2. 標高が高いため冬の寒さが厳しく、河川の大部分が凍結して農業用水の取り入れが困難になるため。  
3. 山地からの急斜面が多く、降った雨がすぐに海へ流れ出てしまい、地下水が全く蓄えられないため。  
4. 内陸部で夏の気温が非常に高くなるため、土壌に含まれる水分が蒸発しやすく、常に大量の散水が必要なため。

問8 青森県、福井県、鹿児島県、愛知県各県庁所在地の面積と人口密度を比較した統計において、一平方キロメートルあたりの人口密度が七千人を超えており、中部地方の政治・経済の拠点となっている都市を答えなさい。(2026年 富山公立入試 類似)

1. 名古屋市 2. 青森市 3. 福井市 4. 鹿児島市

問9 北陸地方における「冬の気候」と「人々の生活」の関係について述べた文として、正しいものを選びなさい。なお、福井市の統計では冬の降水量が多く、農業暦では冬に農作業の記録がないことを前提とします。(2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた  
2. 雪解け水による豊かな水資源を、大規模な工業用水としてのみ利用した  
3. 冬の厳しい寒さを利用して、農作物の二毛作を全国に先駆けて行った  
4. 冬の間は都市部へ出稼ぎに行くことが禁止されたため、独自の文化が途絶えた

問10 中部地方などで見られる地場産業の成り立ちについて説明した次の文章の空欄にあてはまる言葉の組み合わせとして、適切なものはどれですか。「かつて、冬に雪が積もり農作業ができない(①)の農家にとって、手作業で行う工業製品の生産は貴重な(②)であった。この時、都市部と比較して(③)ことが、生産拠点が広がる大きな要因となった。」(2018年 群馬県公立入試 類似)

1. ①農閑期 ②副業 ③賃金が安い 2. ①農繁期 ②副業 ③原料が豊富である  
3. ①農閑期 ②本業 ③消費地に近い 4. ①農繁期 ②本業 ③賃金が高い

問11 中部地方における発電所の分布を示した資料において、伊勢湾や太平洋の沿岸部に集中している発電所と、福井県の若狭湾沿いや静岡県静岡県の海岸沿いに点在している発電所の種類について、正しく説明しているものはどれですか。(2025年 和歌山公立入試 類似)

1. 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県静岡県の沿岸部には原子力発電所が配置されている。  
2. 伊勢湾などの沿岸部には広大な土地を利用する太陽光発電所が、福井県や静岡県静岡県の沿岸部には大規模な水力発電所が配置されている。  
3. 伊勢湾などの沿岸部には山地から流れる水を利用する水力発電所が、福井県や静岡県静岡県の沿岸部には火力発電所が配置されている。  
4. 伊勢湾などの沿岸部には原子力発電所が、福井県や静岡県静岡県の沿岸部には輸入燃料を効率よく活用する火力発電所が配置されている。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問2	答え 1 輪島塗	石川県輪島市で生産される輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。北陸地方の湿潤な気候は漆の乾燥に適しており、古くから地場産業として発展してきました。福島県の会津塗、岩手県の南部鉄器、京都府の西陣織といった他の地域の伝統産業との違いを区別することが重要です。
問3	答え 1 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから	自動車などの輸送用機械は、製品一つひとつの重量が大きく、体積も占有するため、航空機での大量輸送には向きません。海上輸送は、航空輸送に比べて時間はかかりますが、重量のあるものを一度に大量に、かつ低コストで運ぶことができるため、日本の主力輸出産業である自動車産業を支える重要なインフラとなっています。
問4	答え 1 日本海側の平野部では稲作が盛んに行われる一方で、内陸の標高が高い地域では1月の平均気温が氷点下になるような冷涼な気候を活かした野菜栽培が行われている。	中部地方は、日本海側の新潟県などで広大な平野と雪解け水を活かした米作りが非常に盛んです。一方で、長野県などの内陸部は標高が高く、冬の気温が氷点下（-0.6度など）になるほど厳しい寒さとなります。この「冷涼な気候」は夏場でも涼しいため、他の地域が暑くて出荷が難しい時期にレタスやキャベツなどの野菜を栽培・出荷する高冷地農業に適しています。
問5	答え 1 夏でも涼しい気候を活かして、他の地域では生産が少ない時期にキャベツやレタスを生産し、時期をずらして出荷する。	長野県などの内陸部や標高の高い地域では、夏でも気温が上がりにくい「冷涼な気候」という特性があります。この環境を逆手に取り、平地が猛暑で野菜の生産が落ち込む夏季に、キャベツやレタスを育てて出荷する「抑制栽培（高冷地農業）」が行われています。これにより、需要の高い時期に高い価格で販売することが可能になります。
問6	答え 1 図上の距離で2.4cmの範囲を測り、その中に消防署や警察署の記号があるかを確認する。	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して表示しています。実際の600m（60,000cm）は、図上では「 $60,000 \div 25,000 = 2.4\text{cm}$ 」となります。高岡市のような地方自治体の中心部にある市役所周辺には、消防署（火の用心を連想させる交差した棒の記号）や警察署（丸の中にバツ印の記号）などの主要な公共施設が集まっていることが一般的です。
問7	答え 1 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。	中央高地の盆地では、夏は太平洋側から、冬は日本海側から吹く湿った季節風が、それぞれ周囲の山々を越える際に雨や雪を降らせず、山を越えて盆地側に吹き込む風は乾燥しているため、年間降水量が少なくなります。この気候的制約を克服し、農業用水を確保する手段としてため池が重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋は、他の地方の県庁所在地と比較しても人口密度が非常に高く、大規模な都市圏を形成しています。これは、名古屋が中部地方全体を統括する政治・経済の拠点（広域中心都市）としての機能を持っているためです。
問9	答え 1 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた	北陸地方では冬に雪が降り積もるため、物理的に稲作ができない時期が生じます。この期間を活用して、農家の人々が家で行う織物や加工品づくりなどの副業が発達しました。このように、厳しい自然環境に適応し、農閑期の労働力を有効に活用しようとしたことが、この地域の地場産業の成立条件となっています。
問10	答え 1 ①農閑期 ②副業 ③賃金が安い	日本の多くの地場産業は、農作業が休みになる農閑期に、現金収入を得るための副業として始まりました。特に労働力として農家の人々を雇う際、賃金が安く抑えられたことが、その地域で産業が定着し、発展する重要な条件となりました。原料の豊富さや消費地への近さではなく、労働力の質と価格が発展の鍵となった事例です。
問11	答え 1 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県沿岸部には原子力発電所が配置されている。	愛知県や三重県に面する伊勢湾周辺は中京工業地帯などの大規模な工業エリアや大都市があるため、燃料の輸入に便利で大量の電力を安定して供給できる火力発電所が沿岸部に集中しています。また、原子力発電所は大量の冷却水を確保する必要があるため、福井県の若狭湾沿いや静岡県の御前崎付近などの海岸沿いに設置されています。